

《学習のねらい》

- ・地球規模の環境問題や家庭でのエネルギー消費の学習を通して自らの生活に生かし、環境に配慮する姿勢を育てる。
- ・保幼との連携を通して、自分たちで行える環境に配慮した活動を考え、環境保全に対する意識を高める。



【ポスター作り】

《学習の流れ》

実施時期 2学期

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1	<b>事前アンケート</b>	■生徒が環境保護についてどれだけの意識を持っているかを正確に把握する。
2	<b>「環境に配慮した生活」</b> ・教科書・プリントを用い、様々な環境問題について学習する。	■教科書（家庭科）をもとに、地球規模の環境問題や、家庭でのエネルギー消費について考えさせる。
3	<b>話し合い活動</b> ・班で「自分たちの手で行える環境に配慮した活動」について話し合い、発表をする。	■グループでの話し合いにより、自分たちの手で行える環境に配慮した活動はないか考えさせる。 ■3年間で学んだ家庭科の内容を生かせるようなものになるよう留意させる。
4	<b>ポスター作り</b> ・家庭で不要になったタオルを寄付してもらうためのポスターを作る。	■どのような文章であれば失礼がなく、なおかつ協力したいと思わせるのか考えさせる。
5	<b>雑巾作り（保育園へ寄付）</b> ・タオルを切り、通常より小さいサイズの雑巾を作る。	■寄付してもらったタオルの厚みの違いを通して、実際の生活の中で修理やリフォームをする際には、様々な素材のものに対応できなければいけないことに気付かせる。 ■幼児の手の大きさを考え、幼児が使いやすいように、かつ安全に使用できるようなものにするよう留意させる。
6	<b>保育園へ寄付</b> ・保育園に寄付する雑巾を梱包し、手紙を書く。	■出来上がった雑巾を幼児が手にして危険がないかを、幼児分野の学習で学んだ幼児の身体の特徴と絡めて確認させる。 ■幼児がどのような手紙を受け取ったら喜んでくれるか話し合うことで、幼児への理解を深めさせる。
7	<b>事後アンケート</b>	■今回の取組みで環境に対する意識がどのように変容したかを確認する。



【タオル回収を呼びかけるポスター】



【タオルを再利用した雑巾づくり】

《成果（生徒の感想や反応 等）》

- ・自分たちで考えた実践のため、能動的に活動できた。
- ・市販の教材と違い、一つ一つタオルの素材や厚みが違うため、材料に応じた縫製の仕方を学べた。
- ・事前アンケートで、本校の生徒は「古くなったものや壊れたものを修理したり、他のものに作りかえて使用する（リペア、リフォーム）」という経験が乏しいことが明らかになっていた。今回不要タオルでの雑巾づくりをしたことで、リフォームを経験させることができた。事後アンケートでも「意外と簡単だったので、家でもしてみたい」という記述をしている生徒が多くみられた。
- ・実際に保育園に寄付をしたことで、大きな達成感を得られた。雑巾に添えた手紙にも「古いタオルで作ったので、あまりきれいではありませんが、環境と皆さんのために一生懸命作りました。大切に使ってくださいね」というメッセージを書いた生徒もあり、環境保全に対する意識が高まった。